

芦別夫婦岩 γ ルンゼ左股奥壁 富士鉄ルート～本峰西壁ダイレクト

2013 年 6 月 7 日～9 日

L: 渡辺大三 M: 栗山靖人、井出康太

2007 年に小野武さんから誘われてトライしたが悪天候敗退。その後、田中さんと企画、また悪天候。そして大三と企画するも、時期が遅すぎて γ ルンゼ登高不能で敗退。そして今回が自身 6 年越し 4 度目の挑戦となった。

すっかり自分で企画する気もなくなっていた私が、春に井出から誘われて、少しその気になっていた。しかし、働きすぎ？で謎の手の湿疹が悪化、これは無理かなと諦めていた所で、大三の行こう行こうの大合唱。こんなチャンスはもう無いかな...と、手の痛みを押して参加を決めた。

6 月 7 日 (金)

大三に拾ってもらい、修岳荘へ。井出車で出発。18:45 旧道登山口発～19:00 ユーフレ小屋着 C1。快適な小屋で軽く一杯やって、早めに就寝。

6 月 8 日 (土)

2:30 起床。3 人ともそそくさと準備して 3:10 出発。まだ薄暗い河原を歩く。ゴルジュはすっかり埋まっていて快適に本谷を詰める。4:00 γ ルンゼ出会い。奥壁が朝日に照らされて迫力ある姿を見せている。簡易アイゼンにスニーカーの井出は少し大変そう。私も簡易アイゼンだが登山靴なので快適に γ ルンゼを詰める。5:00 奥壁基部着。取り付けは Z 状ハングが明瞭でとても解り易い。最高の天気の中、富士鉄ルートに取り付いた。

1P:(栗山) 25m 5.10C

ここは、6 年前、T 攀の N さんがフリー化したと聞いたので、何としてもフリーで抜けようとアプミは持たず取り付いた。比較的岩はしっかりしているが、途中、大三からスタンス動いたとの指摘有り。気をつけて乗り込むがスタンス取れた。大三の指摘のおかげで落ちずに済んだ。中間のレッジにボルト 2 本有り。元々 A1 のルートなので残置は豊富に有るのでランニングを沢山取って行く。レスト時に少しボルトの頭を触ってしまったが、なんとか終了点のレッジに這い上がった。

2P:(井出) 20m 5 級 A0

少し上がって右ヘトラバース、その後が悪そう。井出も少し粘ったが A0 となる。ボルトの打たれたレッジに這い上がり、ロープの流れを考えてここで切る。事前の大三の調査で N 原氏より切った方が良いとのアドバイスがあったのだ。フォローの大三も栗山もフリーでは行けず、A0 となる。

3P:(大三) 20m 5 級～5 級草付き

レッジよりさらにトラバースして悪いカンテを超える。さらにトラバースして、強烈な傾斜のブッシュを直上して第一樺の木テラスへ。良くこのブッシュ登れたな～と関心関心。でも、その右横の凹角に残置ハーケン沢山有ったが...

4P:(栗山) 40m 5 級 - ～4 級 + 草付き

ピレー点を 7～8m ほど左へずらし、次の壁の取り付けへ移動。クラックを登り、ボロイ岩をトラバース、少し攀って右へさらにトラバースするハーケンが見えたが、真上の凹

角にもハーケンが。トボではトラバースと解っていたが、直上の方が簡単そうに見えたので、上へ。抜け口の木に敗退カラビナ発見！完全に間違えルートだ！しかし、オレにはアズターが有るぜと、草付きに刺しまくり。何とかかんとか抜けました。ハ～疲れた～。

5P:(井出)45m 5級+(ボロボロ)

第二樺の木テラスより段々の草付きを登る。浮石多くかなりボロイ。下の私と大三は石を避けるのに必死。左上バンドに入ってからもとにかくボロイ。井出はかなり苦労しながらも何とか最後のフェースを攀り、終了点へたどり着いた。セカンドの二人は落石を避ける為、途中まで同時登攀した。

6P:(大三)15m 5級~5級草付き

壁を6~7m左上。その上がどこへ行けば良いのやら...。大三はかなり探った上で、直上草付きハングを選択。バイルを決めて何とか立ちこみ、樺の木を抱きかかえる。樺の木でマントルを返して、草付きへ出て終了。

その後、垂直の木登り。途中1P ロープを出して、何とか稜線に出る。北尾根が見渡せる。北尾根へ向かって藪漕ぎ。17:00 北尾根手前で少し広い場所を見つける。もう疲労と脱水でヘトヘト...。既に14時間行動。今日はここで泊まろうと提案するが、L大三、休んでからもう少し行きましょう！と...。近くに雪渓も有り、ビバーク最適地！とりあえず雪渓で水を作り(3人の水は6P 抜けた所で尽きていた) インスタント味噌汁を3人で分ける。なまら旨い！

夕食食べてから先へ行こうと言うLの提案を、なんとか断り、今日はここでC2とする。私は夕食後早々にツエルトの中へ。大三は焚き火。井出は大三に付き合っただけを漕ぐ...

6月9日(日)

4:00 起床。快晴の中5:30 出発。雪渓を所々つなげて北尾根へ。うまく夏道発見。

7:30 本峰西壁D基部到着。

1P:(井出)40m 5.10a

正面のいかにも悪そうなクラックに取り付く。被ったハンドからスクイズチムニーへ。かなり悪そうだ。なんとか抜けて、初登か？

2P:(大三)45m 5級

快適に攀って行く。さすが大三は正しくDルートを安定してトレースして行く。以前井出が残置したと言うハーケンをフォローで回収しようとするが抜けず諦める。ここを直上したの？新ルート(ダイレクトダイレクト6級)か？

11:00 芦別岳頂上。本谷を登ってきた登山者で賑わっていた。新道下山途中、大三と井出がジャンケン。井出が負けて早く降りて車取ってくる係に決定。私はヘロヘロでゆっくり下山。14:00 新道登山口。旧道の方へ歩いて行くと、キャンプ場付近で大三と合流。まもなくして車で井出登場。その手には冷たいコーラ3本持っていた。いや～なんまら旨かった～！！

大三、井出、二人のおかげで6年越しの目標が一つ達成できました。本当に感謝です。ただ、最初に声を掛けてくれた小野武さんと来れなかったのが少し残念です。

文責：栗山 靖人